いわちゃんポスト

岩井やすのりの県政かわら版

千葉県議会議員

岩井やすのり

プロフィール　1970 年生まれ 49 歳　3 期目現職
早稲田大学大学院　政治学研究科修了

全盲の視覚障害者を両親に持ち、障害者の困窮する生活ぶりを多く目の当たりにしてきた事が、政治を目指すきっかけに。

事務所連絡先　TEL：0476-36-7799
HP：http://www.iwai-y.jp メール：mail@iwai-y.jp
印旛郡栄町安食台 2-26-23（栄町役場前大山ビル 2F）

長門川下流 4.3 キロ 護岸整備と自転車道の課題

土がむき出し状態で、河岸の浸食が問題となっている長門川。昨年春よりその護岸改修が事業化されていますが、整備が中断されたままの沿川サイクリング道（自転車道）の設置も大きな課題です。

●長門川の河川整備事業化　台風 26 号がきっかけ

長門川の護岸整備が強く求められるようになったのは、25 年 10 月の台風 26 号がきっかけです。

土がむきだしの長門川

同台風では増水した印旛沼水を新川へ放水しましたが、八千代市内にて 376 棟もの床上・床下浸水被害を招く結果に。印旛沼増水時の新川への放水のあり方が問われることとなりました。一方、新川とともに印旛沼水の放流河川に位置付けられる長門川は、コンクリート護岸整備はおろか木柵による補強もほとんど行われておらず、とても印旛沼水の大放流に耐えられる状況にありません。そこで、印旛沼水の緊急放水を長門川にも行えるようにと、同河川の護岸整備の必要性が注目されることとなったわけです。

そのような中で昨春より事業化となった長門川の護岸整備。長門川の下流域に位置するふじみ橋～酒直水門の約 4.3km について、築堤工事（護岸工）を実施するというもので、総事業費 40 億円、工期は平成 30 年から 49 年までの 20 年間を見込んでます。また、計画堤防高が不足している箇所の築堤を行うとともに、堤防の安定を図るため鋼矢板基礎を設置。河道の流下能力を確保するため、一部で川床の掘削も行う予定となっています。

●千葉～我孫子・佐原　栄町で寸断された自転車道

ところで、銚子市から和歌山市まで太平洋沿い 1400km を走る「太平洋岸自転車道」の整備計画が進む他、JR 千葉支社が自転車を解体せず持ち込める専用電車「B.B.BASE」の運行を始めるなど、近年はサイクルツーリズムに着目した観光誘客が活発となっています。

県自転車道（点線が未整備区間）

実は、この北総エリアは県内でも自転車道が重点的に整備されてきた地域。我孫子から佐原、東庄まで利根川に沿っての 50km 超（佐原我孫子自転車道・銚子小見川佐原自転車道）の他、栄町安食から千葉市内についても 45km 超の自転車道で結ばれています。しかし、栄町の長門川下流域（ふじみ橋～酒直水門付近）、つまりは前掲の長門川の護岸未整備区間については、自転車道の整備も中断されたまま。結果、千葉から我孫子、佐原までの自転車道の大半が整備されていながら、栄町内で寸断され、行き来できない状態でいるのです。

●サイクルツーリズムで町おこし　関係団体と連携します

県は長門川の護岸整備とともに、未開通区間である長門川下流域の自転車道の整備を進める方針です。サイクルツーリズムは、自転車愛好家のみならず、町おこしへの起爆剤として関係自治体も期待するところ。長門川沿川の自転車道早期開通のため、地元自治体や自転車愛好家団体等との連携を強めてまいります。

11,744 票にて3期目当選！今だから言える選挙裏話

4/7 に投開票が行われた千葉県議会議員選挙では、1万 1744 票もの得票により当選する事ができました。今回は、選挙戦中には明かせなかった陣営の裏話です。

当落	候補者名	得票		
		印西市	栄 町	全体計
○	**岩井やすのり**	6,470（21.0%）	5,274（63.7%）	11,744（30.1%）
○	滝田としゆき	14,043（45.6%）	1,247（15.1%）	15,290（39.1%）
	加藤りょうじ	5,194（16.8%）	1,183（14.3%）	6,377（16.3%）
	山本きよし	5,084（16.5%）	569（6.9%）	5,653（14.5%）

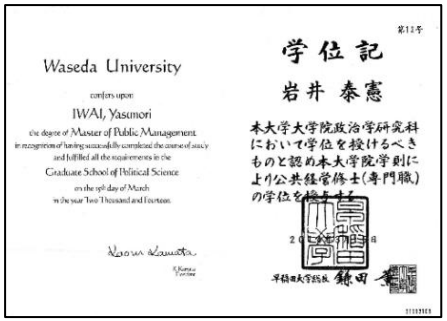
●学歴詐称とのいわれなき批判　沈黙を続けるしかなかった

まず、告示日を迎える前から問題となったのが、他陣営による自身への中傷（事実に基づかない批判）です。

A 候補はツイッター等を通して、岩井が県に働きかけを行ってきた「見えない横断歩道問題」等について、県議会会議録で検索ヒットしない事をもって、あたかも何もしていないかのような批判を続けました。B 陣営はさらに激しく、「（岩井は）後援会長を失った」「大学院を最終学歴といえない（＝学歴詐称ではないか）」等と事実無根のビラを作成。B 候補の政策ビラを挟み込みながら、栄町から印西市内まで繰り返し配り歩きました。

この件については、陣営内で何度となく話し合いました。特に後者のビラでは「（岩井がいわちゃんポストで）『卒業』と『修了』を混同して記載」「（岩井に）『修了』と書くべきだと口頭で伝えた」等とでっちあげと思われる箇所まで散見されたものの、警察はもちろん選管さえ何もしてくれません。反論ビラの発行も検討しましたが、さらに輪をかけて中傷してくるのは目に見えており、「泥仕合化」してしまえば相手陣営の思うツボ。結局、候補者は沈黙を続けるしかないのです。

選挙においては、他候補をおとしめる事で自陣営に利するという方法もあるのでしょう。また、彼らに何かの勘違いがあったのかもしれません。ですから、私は A 候補や B 陣営を批判するつもりはありません。しかし、自らの修了証書をここに掲載する事により、彼らの主張が事実に基づかない誤ったものであった事を、自身を応援してくれた有権者のために明確にしたいと思う。



岩井の修了証書（学位記）の写し

●エスカレートする朝の場所取り～声を詰まらせた駅頭活動

もう一つの裏話が、朝の場所取りの激しさです。普段から駅頭にてビラ配りを行っていますが、通常は朝 6 時ごろから 8 時過ぎまで。しかし、年明け頃から各陣営が駅立ちを始めるようになり、場所取りはにわかに激しさを増します。道具を置いておいても現場を離れてしまえば撤去されても文句が言えない等、その争いはし烈。岩井の場合、いつものビラ配りスタッフとわずか 2～3 名という陣容ですので、最初に現地入りしなければ他陣営にはじき出されてしまいます。結果、現地入りする時間は 5 時半から 5 時、4 時半と日増しにエスカレート。是が非でも良い場所を取りたかった選挙戦最後の 4 月 5 日は、始発電車が動く 1 時間以上も前、朝 3 時 50 分の千葉ニュータウン中央駅入りとなりました。

もっとも、当日は普段ではありえない数の「がんばってね！」とのお声がけをいただき、思わず声を詰まらせる場面も。選挙による疲労が吹き飛んだ事はもちろん、生涯忘れられない朝の駅頭活動となりました。